

佳作

私たちの大切な生き物

三光小学校 望月 里彩

「生き物ってどういう物だろう。」
と、考えたことはありませんか。みなさんもいっしょに考えてみましょう。

生き物は野生の動物だけではありません。かい犬、かいねこだってそうです。鳥や魚、虫、目に見えない菌だって生き物です。花や木などの植物や自然、そして私たち人間だってそうです。

地球にはたくさん種類の生き物がいますが、生き物が少なくなったり、ほろびてきています。すべての生き物たちは、自然をうまく利用して、食べる食べられる、きょうそうする、いっしょに助けあいながらつながつて、生きています。人間もその一員だから生きていけるのです。しかし、今、自然のバランスがくずれ、生き物が少なくなり、ほろんでいきます。

どうして少なくなったりほろんでるのでしょうか。理由は、開発をして自然がなくなったり、生き物をたくさんとったり、人工林を放置したり、畑をたがやさなかつたり、外来種をもちこんだり、地球おんだんかのせいで生き物が住めなくなったり水がよごれ魚が少なくなっているからです。

日本でも三千百五十五種の野生生物がほろびそうになっています。コウノトリ、アオウミガメ、メダカ、ツキノワグマ、オオワシ、トキなどの野生の動物がほろびそうになっています。

最後になぜ、いろいろな生き物が生きていることがひつようなのでしょうか。理由は、私たちのくらしは、たくさん種類の生き物に支えられているからです。そしてりくや海の植物は日光、ニさん化したんそ、水をもらって成長し、さんそやきれいな水をつくりすべての生き物が生きるためのきそを作ってくれています。私たち人間が生きるために必要な食料や薬、衣類の原料をつくります。ゆたかな文化、美しいけしきのみなもとになり、生き物がいると安心です。楽しいです。かいてきてです。海岸の自然は、津波をへらし、ゆたかな森林は台風のひがいをへらします。そして、命の大切さもおしえてくれます。

私はそんな生き物を守っていききたいです。そして、ほろびてしまいうような生き物が今後ふえていくとうれしいです。